

○口腔衛生学：622-3-DP1・DP4・DP5・DP7

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*有川 量崇（衛生学）

学修目標 (GIO)と 単位数	単位数：3単位 本来、本講義は歯科疾患の予防について学ぶ科目である。しかし今日では、単なる歯科疾患を意識した予防という考え方でなく、体の一部分である歯や口腔が健康であることを通じて、その人自身が健康であること、また、健康かどうかだけでなく、日常生活（活動）が自立しているか、さらに、社会参画が実現しているかといったところまで、守備範囲を広げて学ぶ必要性が出てきている。 すなわち、予防歯科学実習を通じて「歯科・口腔」を専門分野としつつ、「体全体」についても深い造詣を持てるように、また「地域の人々」が活き活きとした生活を送っているかどうかにもまで気配りのできるような態度を身につけるための、基礎的素養を身につけることを目標にする。 実習は、「歯科・口腔」の専門家としての基本的技術を体得する実習と、グループによる健康に関する「問題解決」実習を用意してある。前者は、主に、口腔内診査と歯科疾患の予防方法に関するものであり、後者は広く健康について、グループで問題を設定し、調査や実験によりその問題をチームワークにより解決することを体験する実習である。最終日には成果の発表会を実施し相互評価をする。これらを踏まえて予防歯科学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*有川 量崇、後藤田 宏也、※生田 明敏、※秋月 照彦、※李 昌弘、那須 郁夫、田口 千恵子、※深井 稜博、※小椋 正之、※鈴木 克彰、※山田 孝、*内山 敏一、※脇田 雅文、*林 佐智代
教科書	口腔衛生学2020 松久保 隆、八重垣 健、前野正夫、那須郁夫ほか□ 一世出版
参考図書	国民衛生の動向 厚生統計協会 厚生統計協会 学生版 だれにでもできる 小さな努力で確かな効果 田浦勝彦、木本一成、磯崎篤則、田口千恵子、小林清吾 砂書房
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う2回の平常試験によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を行い、再試験を実施する。 実習：レポート・提出物の評価（30%）、実習態度（20%）、課題の発表と討論（20%）、筆記試験（30%）とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科の専門家として、口腔衛生・予防歯科は、歯科の中心に据えてもらいたい。 歯科に関する実習では、基本に忠実にお願いしたい。また、問題解決実習（昭和51年からの伝統的実習）では、問題発見から、調査、分析、発表まで、それぞれのグループの個性あふれる研究成果を毎年楽しみにしている。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/09（金） 2時限 10:40～12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	【授業の一般目標】 口腔機能の発育、維持向上および疾病の多要因病因説について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔機能の維持増進の意義について説明できる。 2. 口腔機能と発育について説明できる。 3. 摂食・嚥下機能について説明できる。 4. 疾病の多要因病因について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：疾病の多要因病因について 事前学修時間：30分 事後学修項目：疾病の多要因病因について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 b プライマリヘルスケア c ヘルスプロモーション d 健康日本21（第二次） 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 a 口腔の環境・機能	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/09 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇
2021/04/09 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 -----	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の予防方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の予防方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 ②臨床上の疑問（clinical question〈CQ〉）を定式化できる。 ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。 ⑧行動変容と行動療法を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/04/09 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の予防方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の予防方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/09 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成	A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/04/16 (金) 2時限 10:40～12:10	予防歯科の重要性	【授業の一般目標】 歯科における予防の重要性を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 予防歯科を説明できる。 2. 予防歯科の重要性を説明できる。 3. ライフステージにおける予防歯科の特徴を概説できる。 4. 主な歯科疾患の予防を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科における予防について考える 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科における予防についてまとめる 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	山田 孝
2021/04/16 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準（抜去歯） ・集団歯科検診法 I：う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/16 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	る。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/04/16 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/04/23 (金) 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・ 口腔清掃	【授業の一般目標】 歯と口腔内環境・口腔清掃について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯、歯質および歯周組織について説明できる。 2. バイオフィルム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃(歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤)を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/23 (金) 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・ 口腔清掃	4 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。	後藤田 宏也
2021/04/23 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/04/23 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/23 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 Ⅰ：う蝕 ----- 〔選択課題〕	4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/04/30 (金) 2時限 10:40～12:10	歯科医院における 口腔環境管理	【授業の一般目標】 歯科医院における口腔環境管理について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯、歯質および歯周組織について説明できる。 2. バイオフィーム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃(歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤)を説明できる。 4. 歯科医院における口腔管理について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	*有川 量崇
2021/04/30 (金) 3時限 13:10～14:40	必須課題 ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周疾患(CPI)の評価および歯口清掃評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の評価について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の評価について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/04/30 (金) 3時限 13:10～14:40	必須課題] ・集団歯科検診法 II：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和と科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/04/30 (金) 4時限 14:50～16:20	必須課題] ・集団歯科検診法 II：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周病の評価について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周病の評価について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和と科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/07 (金) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 1：砂糖の影響とその制限	【授業の一般目標】 齲蝕予防管理方法(砂糖の影響とその制限)について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 非う蝕誘発性甘味料について説明できる。 2. 間食指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕と砂糖について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕と砂糖の影響について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/07 (金) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 Ⅰ：砂糖の影響とその制限	アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 e 食生活指導 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 d 健康教育・学習、保健指導、健康相談 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	田口 千恵子
2021/05/07 (金) 3時限 13:10～14:40	必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の評価について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の評価について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/07 (金) 4時限 14:50～16:20	必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/07 (金) 4時限 14:50～16:20	必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	事前学修項目：歯周病の評価について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周病の評価について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/14 (金) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 2：フッ化物応用の基礎	【授業の一般目標】 齲蝕予防管理方法（フッ化物応用の基礎）について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. フッ化物の基本的知識について説明できる。 2. フッ化物の代謝について説明できる。 3. フッ化物と歯のフッ素症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物応用について 事前学修時間：30分 事後学修項目：フッ化物応用について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価 d フッ化物応用 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 B-3-1) 予防の概念 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。	田口 千恵子
2021/05/14 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/14（金） 3時限 13:10～14:40	・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和と科学的探究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/14（金） 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和と科学的探究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/14 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/21 (金) 2時限 10:40～12:10	地域におけるフッ化物応用の重要性	【授業の一般目標】 地域における齲蝕予防としてのフッ化物応用について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 地域における齲蝕予防活動について説明できる。 2. 地域におけるフッ化物応用について説明できる。 3. 地域における種々のフッ化物応用の取組みについて理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物応用基礎を復習する 事前学修時間：30分 事後学修項目：地域におけるフッ化物応用について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価 d フッ化物応用 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。	田口 千恵子
2021/05/21 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/21 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	る。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/21 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/28 (金) 2時限 10:40～12:10	平常試験1 解説 講義	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防方法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔の発達と機能について説明できる。 2. 歯科疾患の予防について説明できる。 3. 歯と口腔内環境について説明できる。 4. 歯科疾患と砂糖について説明できる。 5. 齲蝕予防におけるフッ化物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの講義内容全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：これまでの講義内容全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/28 (金) 2時限 10:40～12:10	平常試験1 解説 講義	4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用 b 保健指導 c 口腔清掃 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 b 歯への沈着物 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子
2021/05/28 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/05/28 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/05/28 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/06/04 (金) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 3：フッ化物応用・ フィッシャーシーラント	【授業の一般目標】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. フッ化物によるう蝕予防のメカニズムについて説明できる。 2. フッ化物の全身応用法について説明できる。 3. フッ化物の局所応用法について説明できる。 4. フィッシャーシーラントについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物応用について 事前学修時間：30分 事後学修項目：フッ化物応用、フィッシャーシーラントについて 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価 d フッ化物応用 e 食生活指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。	田口 千恵子
2021/06/04 (金)	実習	【授業の一般目標】	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:10～14:40	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齶蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齶蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齶蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/06/04（金） 4時限 14:50～16:20	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齶蝕リスク診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齶蝕リスク診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/04（金） 4時限 14:50～16:20	実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- 〔選択課題〕	る。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/06/11（金） 2時限 10:40～12:10	歯周疾患の予防管理	【授業の一般目標】 歯周疾患の予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患の定義、特徴および分類について説明できる。 2. 歯周疾患の病因について説明できる。 3. 歯周疾患の予防管理の具体的進め方について説明できる。 4. 禁煙指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の定義、予防管理、歯石除去法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の定義、予防管理、歯石除去法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 a 歯肉炎の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変 b 歯肉病変のリスクファクター c 歯周炎 d 歯周炎のリスクファクター b 歯周炎の予防・管理 d 口腔清掃指導 e 禁煙指導・支援 f 生活習慣指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	田口 千恵子
2021/06/11（金） 3時限 13:10～14:40	実習〔選択課題〕	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1 実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/11（金） 3時限 13:10～14:40	実習〔選択課題〕	【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/06/11（金） 4時限 14:50～16:20	実習〔選択課題〕	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/06/18（金） 2時限 10:40～12:10	歯周疾患と全身状態	【授業の一般目標】 歯周疾患と全身状態について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 歯周疾患の予防管理の具体的進め方について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の定義、予防管理、歯石除去について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の予防管理の具体的進め方について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室	秋月 照彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/18（金） 2時限 10:40～12:10	歯周疾患と全身状態	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 b 歯周炎の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変 b 歯肉病変のリスクファクター c 歯周炎 d 歯周炎のリスクファクター b 歯周炎の予防・管理 d 口腔清掃指導 e 禁煙指導・支援 f 生活習慣指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	秋月 照彦
2021/06/18（金） 3時限 13:10～14:40	実習〔選択課題〕	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/06/18（金） 4時限 14:50～16:20	実習〔選択課題〕	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/18 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/06/25 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔と全身とQOL	【授業の一般目標】 口腔疾患と全身について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 口腔疾患と全身の関連性を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔と全身の関連性について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔と全身の関連性について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 e メタボリックシンドローム 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。	*有川 量崇
2021/06/25 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題]	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/06/25 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題]	a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和と科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/06/25 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和と科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/07/02 (金) 2時限 10:40～12:10	疾病のリスク評価 の実際・口臭予防	【授業の一般目標】 う蝕リスク診断法とその特徴および口臭の原因と予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.歯、宿主要因に関するリスク診断について説明できる。□ 2.微生物要因に関するリスク診断について説明できる。 3.飲食物の要因と時間要因に関するリスク診断について説明できる。 4.口臭症と歯科臨床について説明できる。 5.口臭の臨床ガイドラインについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口臭について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口臭について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布	*内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/02（金） 2時限 10:40～12:10	疾病のリスク評価 の実際・口臭予防	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	*内山 敏一
2021/07/02（金） 3時限 13:10～14:40	実習〔選択課題〕	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/07/02（金） 4時限 14:50～16:20	実習〔選択課題〕	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/02 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題]	必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/07/09 (金) 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標	【授業の一般目標】 歯科保健の統計指標について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 疾病数量化の基本概念について説明できる。 2. う蝕の統計指標について説明できる。 3. 歯周疾患の統計指標について説明できる。 4. 口腔清掃状態の統計指標について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の統計指標について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の統計指標について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	後藤田 宏也
2021/07/09 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スライド作成や抄録作成について 事前学修時間：30分 事後学修項目：スライド作成や抄録作成について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/09（金） 3時限 13:10～14:40	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/07/09（金） 4時限 14:50～16:20	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スライド作成や抄録作成について 事前学修時間：30分 事後学修項目：スライド作成や抄録作成について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/07/16（金） 2時限 10:40～12:10	社会における歯科 医師の役割	【授業の一般目標】 社会における歯科医師の役割について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 社会保障制度を説明できる。 2. 社会保障の動向を説明できる。 3. 医療保障・公衆衛生サービスを説明できる。 4. 社会福祉サービスを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：社会における歯科医師の役割について 事前学修時間：30分 事後学修項目：社会における歯科医師の役割について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室	小椋 正之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/16 (金) 2時限 10:40～12:10	社会における歯科 医師の役割	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 h 国民医療費、社会保障費 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論1 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 a 社会保障制度 b 医療保険、介護保険 c 医療経済と国民医療費 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。	小椋 正之
2021/07/16 (金) 3時限 13:10～14:40	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題の発表方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：課題の発表方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/07/16 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題の発表方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：課題の発表方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/07/16 (金) 4時限 14:50～16:20	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学研究の重要性を説明できる。 ④科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 那須 郁夫 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝 *内山 敏一
2021/08/27 (金) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2 解説 講義	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 b 健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子
2021/08/27 (金) 3時限 13:10～14:40	実習試験 解説講義 まとめ	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/08/27 (金) 3時限 13:10～14:40	実習試験 解説講義 まとめ	必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 ④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/08/27 (金) 4時限 14:50～16:20	実習試験 解説講義 まとめ	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 ④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 李 昌弘 鈴木 克彰 山田 孝
2021/09/14 (火) 1時限 09:00～10:30	衛生学・口腔衛生 学概論	【授業の一般目標】 各ライフステージにおける口腔衛生・衛生・社会福祉について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔の健康維持増進の意義について説明できる。 2. ライフステージ別に口腔衛生の重要性を説明できる。 3. ライフステージ別の社会福祉について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：ライフステージ別の口腔衛生・衛生・社会福祉について 事前学修時間：30分 事後学修項目：ライフステージ別の口腔衛生・衛生・社会福祉について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 e 保健・医療・福祉・介護の制度と職種	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/09/14 (火) 1時限 09:00～10:30	衛生学・口腔衛生学概論	【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 d 健康日本21（第二次） 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 f 児童福祉制度 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ウ 保健・医療・福祉・介護の法規と制度 d 予防衛生法規 1 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-7 社会における医療の実践 A-7-1) 地域医療への貢献 ③地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 ⑦地域医療に積極的に参加・貢献する。	*有川 量崇
2021/09/21 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科疾患統計の実際	【授業の一般目標】 歯科疾患統計の実態について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯の喪失の実態について説明できる。 2. 歯の喪失の原因について説明できる。 3. う蝕の疫学的特性について説明できる。 4. う蝕の有病状況について説明できる。 5. 根面う蝕の状況について説明できる。 6. 歯周疾患の疫学的特性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患統計の実態について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患統計の実態について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 b 人口統計、保健統計 a 齲蝕の疫学要因 b 歯周疾患の疫学要因 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健統計 ②主な保健医療統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。 ③主な健康指標（平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等）を説明できる。 ④調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2021/09/28 (火) 1時限 09:00～10:30	母子歯科保健	【授業の一般目標】 母子を対象とした集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 妊産婦の歯科保健について説明できる。 2. 乳幼児の歯科保健について説明できる。 3. 母子保健手帳について説明できる。 4. 母子歯科保健のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/09/28 (火) 1時限 09:00～10:30	母子歯科保健	事前学修項目：母子歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：母子歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 c 母子歯科保健の意義 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 a 現状、動向 b 母性保健 d 妊産婦の歯科保健 e 乳幼児の歯科保健と健康診査 f 児童福祉制度 g 児童虐待への対応 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	*有川 量崇
2021/10/05 (火) 1時限 09:00～10:30	世界の予防歯科の現状	【授業の一般目標】 世界における予防歯科の現状について概説できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 世界の歯科保健について理解する。 2. 世界の予防歯科について理解する。 3. 世界と日本の予防歯科の違いについて理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：世界の予防歯科・歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：世界の予防歯科・歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 a 世界の保健、医療の問題と方向性 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-2) 学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	*有川 量崇
2021/10/12 (火) 1時限 09:00～10:30	学校歯科保健	【授業の一般目標】 学校歯科保健について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科医について説明できる。 2. 学校歯科保健活動について説明できる。 3. 学校教育法および学校保健安全法について説明できる。 4. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科保健について	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/10/12 (火) 1時限 09:00～10:30	学校歯科保健	事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 e 学校歯科保健管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 a 現状、動向 b 学校保健の領域・内容 c 学校保健関係者 d 学校歯科保健教育 f 組織活動 g 学校安全 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	後藤田 宏也
2021/10/19 (火) 1時限 09:00～10:30	学校歯科保健の実 際	【授業の一般目標】 学校歯科保健の実際について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 学校歯科医について説明できる。 2. 学校歯科保健活動について説明できる。 3. 学校教育法および学校保健安全法について説明できる。 4. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科保健の実際について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 e 学校歯科保健管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 a 現状、動向 b 学校保健の領域・内容 c 学校保健関係者 d 学校歯科保健教育 f 組織活動 g 学校安全 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	*有川 量崇
2021/10/26 (火) 1時限 09:00～10:30	公衆衛生活動にお ける口腔衛生学の まとめ①	【授業の一般目標】 母子歯科保健・学校歯科保健における予防歯科について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 母子歯科保健における歯科医師の役割が説明できる。 2. 学校歯科保健における歯科医師の役割が説明できる。 3. 歯科疾患統計の実績が説明できる。 4. 公衆衛生活動における各職種の連携について理解する。	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/10/26 (火) 1時限 09:00～10:30	公衆衛生活動における口腔衛生学のまとめ①	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：公衆衛生活動について 事前学修時間：30分 事後学修項目：公衆衛生活動における歯科の役割について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種の連携 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 c 母子歯科保健の意義 e 乳幼児の歯科保健と健康診査 d 学校歯科保健教育 e 学校歯科保健管理 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇
2021/11/02 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験1・解説講義	【授業の一般目標】 母子歯科保健・学校歯科保健・それぞれに伴う保健統計の実際を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 疾病数量化の基本概念について説明できる。 2. 母子歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 3. 学校歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：母子歯科保健・学校歯科保健・それぞれの保健統計について 事前学修時間：30分 事後学修項目：母子歯科保健・学校歯科保健・それぞれの保健統計について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子
2021/11/09 (火) 1時限 09:00～10:30	産業歯科保健	【授業の一般目標】 産業歯科保健について理解できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 産業歯科保健の意義について説明できる。 2. 産業歯科保健に関する制度について説明できる。 3. 口腔領域に現れる職業性疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/11/09 (火) 1時限 09:00～10:30	産業歯科保健	事前学修項目：産業歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：産業歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 a 現状、動向 b 労働安全衛生管理 c 業務上疾病、作業関連疾患 d 健康診断、事後措置 f 産業歯科保健活動 g 職業性歯科疾患 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	後藤田 宏也
2021/11/16 (火) 1時限 09:00～10:30	産業歯科保健の実 際	【授業の一般目標】 産業歯科保健活動の実践について理解できる。 【行動目標（S B O s）】 1. 産業歯科保健の意義について説明できる。 2. 産業歯科保健に関する制度について説明できる。 3. 口腔領域に現れる職業性疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：産業歯科保健活動について 事前学修時間：30分 事後学修項目：産業歯科保健活動について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 a 現状、動向 b 労働安全衛生管理 c 業務上疾病、作業関連疾患 d 健康診断、事後措置 f 産業歯科保健活動 g 職業性歯科疾患 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	脇田 雅文
2021/11/30 (火) 1時限 09:00～10:30	成人・高齢者歯科 保健	【授業の一般目標】 成人、高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。 1. 高齢者の特性 2. 加齢による身体的、精神的変化 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 4. 高齢者に対する歯科疾患予防	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/11/30 (火) 1時限 09:00～10:30	成人・高齢者歯科保健	5. 摂食嚥下障害への対処 6. 制度とニーズ把握 【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者の特性について説明できる。 2. 加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4. 高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5. 高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。 6. 摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7. 制度とニーズ把握について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：成人・高齢者歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：成人・高齢者歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 d 高齢者歯科保健、高齢者の口腔管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 エ 成人保健、成人歯科保健 a 現状、動向 c 成人歯科保健、成人の口腔保健管理 a 現状、動向 b 高齢者の特性 c QOL〈quality of life〉、日常生活動作〈ADL〉 e 日常生活支援事業、介護予防 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	田口 千恵子
2021/12/07 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科保健の実際	【授業の一般目標】 高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。 1. 加齢による身体的、精神的変化 2. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 3. 高齢者の歯科診療における注意点 4. 摂食嚥下障害への対処 【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者の特性について説明できる。 2. 加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4. 高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5. 高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。 6. 摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7. 制度とニーズ把握について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：高齢者歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：高齢者歯科保健の実際について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 d 高齢者歯科保健、高齢者の口腔管理	* 林 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/12/07 (火) 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科保健の 実際	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 エ 成人保健、成人歯科保健 a 現状、動向 c 成人歯科保健、成人の口腔保健管理 a 現状、動向 b 高齢者の特性 c QOL〈quality of life〉、日常生活動作〈ADL〉 e 日常生活支援事業、介護予防 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	* 林 佐智代
2021/12/14 (火) 1時限 09:00～10:30	障害者歯科保健・ 国際歯科保健	【授業の一般目標】 障害者歯科保健と国際歯科保健について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 障害の概念について説明できる。 2. 障害児・者の口腔保健の特性について説明できる。 3. 口腔保健管理とそれを支える特性について説明できる。 4. 国際歯科保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：障害保健・国際保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：障害保健・国際保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 b 国際保健、医療協力 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 a 現状、動向 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 f 国際生活機能分類〈ICF〉、国際障害分類〈ICIDH〉 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑥虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life〈QOL〉） の考え方を説明できる。	深井 稜博
2021/12/21 (火) 1時限 09:00～10:30	社会保障制度	【授業の一般目標】 社会保障制度について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 社会保障制度を説明できる。 2. 社会保障の動向を説明できる。 3. 医療保障・公衆衛生サービスを説明できる。 4. 所得保障を説明できる。 5. 介護保険制度を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：社会保障制度 事前学修時間：30分 事後学修項目：社会保障制度 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布	* 有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/12/21 (火) 1時限 09:00～10:30	社会保障制度	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 a 社会保障制度 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 b 医療保険、介護保険 c 医療経済と国民医療費 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 h 国民医療費、社会保障費 e 保健・医療・福祉・介護の制度と職種 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。	*有川 量崇
2022/01/11 (火) 1時限 09:00～10:30	公衆衛生活動における口腔衛生学のまとめ②	【授業の一般目標】 ライフステージ別における疾患予防、健康保持増進について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 歯科疾患の予防の重要性を説明できる。 2. 産業歯科保健における予防の重要性を説明できる。 3. 高齢者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 4. 障害者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 5. 国際歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 a 健康の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 4 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 b 口腔機能管理 c 栄養管理 7 障害者の歯科治療 エ 口腔保健指導 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義 5 国際保健 ア 国際保健 b 国際保健、医療協力 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life <QOL>）	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/01/11 (火) 1時限 09:00～10:30	公衆衛生活動における口腔衛生学のまとめ②	の考え方を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇
2022/01/18 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験2・解説講義	【授業の一般目標】 ライフステージ別における疾患予防、健康保持増進について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防の重要性を説明できる。 2. 産業歯科保健における予防の重要性を説明できる。 3. 高齢者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 4. 障害者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 5. 国際歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 a 健康の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論 V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 4 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 b 口腔機能管理 c 栄養管理 7 障害者の歯科治療 エ 口腔保健指導 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義 5 国際保健 ア 国際保健 b 国際保健、医療協力 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life <QOL>）の考え方を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子